

チーム金剛中だより

令和6年12月号
寺池台一丁目1番1号 0721-29-1404



発行責任者 校長 岩片 啓子

<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/kongo/>

自分たちの町

あっという間に師走です。「師」のつく職業の人が忙しい月のようにですが、特に仕事に関係なく、もうすぐ年末…と思うだけで慌ただしい気がしますね。



先週、富田林市長吉村様が、3年生に向けて「まる」くて「落ちない」「すべらない」マンホールの蓋にあやかった合格祈願マンホールカードを全員に渡しにきてくださいました。3年生は歓迎のご挨拶に全員で合唱をした後、最近社会科の授業で考えた『富田林市アップデート案』について、いくつか提案しました。もちろんこれがすぐに実現することは難しいでしょうけれど、自分たちの町をこんな町にしたい！という思いはとても伝わりました。それぞれの提案に対して、吉村様からわかりやすくお答えをいただき、子どもたちも嬉しそうで、温かい気持ちになりました。私が個人的に一番気に入ったのは「富田林市を観光客が多く来る活気ある町にする！」という提案でした。富田林市の自然を活かした、誰もが賛成できるような錦織公園改造計画として、ナスと海老芋のテーマパーク『ナスタリゾート・ホテル EBIIMO』の建設、というものでした。具体的には、富田林市の特産品である茄子と海老芋の収穫体験や、自然を活かしたグランピング、ナスや海老芋のアトラクション、ゆるキャラ、そして有名アーティストによるナスと海老芋のオブジェの製作依頼まで進めていくとのこと。これで、富田林市の観光客が増加し、地域のアピールや活性化につながり、世間からの注目が増します！そして経済の活性化から市の財政にも大きな影響を与えるとのこと。もちろん、富田林市が衰退することはない、と考えたようです。子どもたちの発想がとてもおもしろくてかわいらしくて、でもちゃんとそれなりに筋の通るものばかりで、感動しました。



また、ちょうど進路懇談で自分の将来を考えている真っ最中でもあったので、吉村様から市長としての生き方を学ばせていただいたかったのですが、残念ながら時間がありませんでした。なぜ市長という仕事を選ぼうと思われたのか、市長としての「やりがい」や「座右の銘」はどんなことですか、中学3年生の受験時はどうでしたか、人生の壁にぶつかった時どんな風乗り越えられましたか、議員生活の中で一番つかったことはなんなのでしょうか、市長にとって「人生」とは？ など、情熱大陸のバイオリンが聞こえてきそうな熱い質問ばかりだったので、また改めてご回答いただけたらいいなと思っていました。市長さんと身近にお話させていただいたことで、また自分たちの育った町がもっと好きになってくれたんじゃないかと思います。

12月の行事予定

日	曜	給食	部活	行 事
1	日			
2	月	○	○	
3	火	○	○	3年12月実力テスト(3年5限後下校)
4	水	○	○	
5	木	○	×	〈45分×6〉会議日
6	金	×	14:20 開門	〈50分×3〉入学説明会
7	土			
8	日			
9	月	○	○	委員会活動(分割)
10	火	○	○	委員会活動(分割)
11	水	○	×	〈45分×6〉会議日
12	木	○	○	
13	金	○	○	〈45分×6〉
14	土			
15	日			
16	月	○	×	会議日
17	火	×	○	期末懇談会①〈45分×4〉
18	水	×	○	期末懇談会②〈45分×4〉
19	木	×	○	期末懇談会③〈45分×4〉
20	金	×	○	期末懇談会④〈45分×4〉
21	土			
22	日			
23	月	×	×	〈45分×3〉+大掃除
24	火		13:30 開門	終業式
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	日			学校閉庁日
30	月			学校閉庁日
31	火			学校閉庁日

